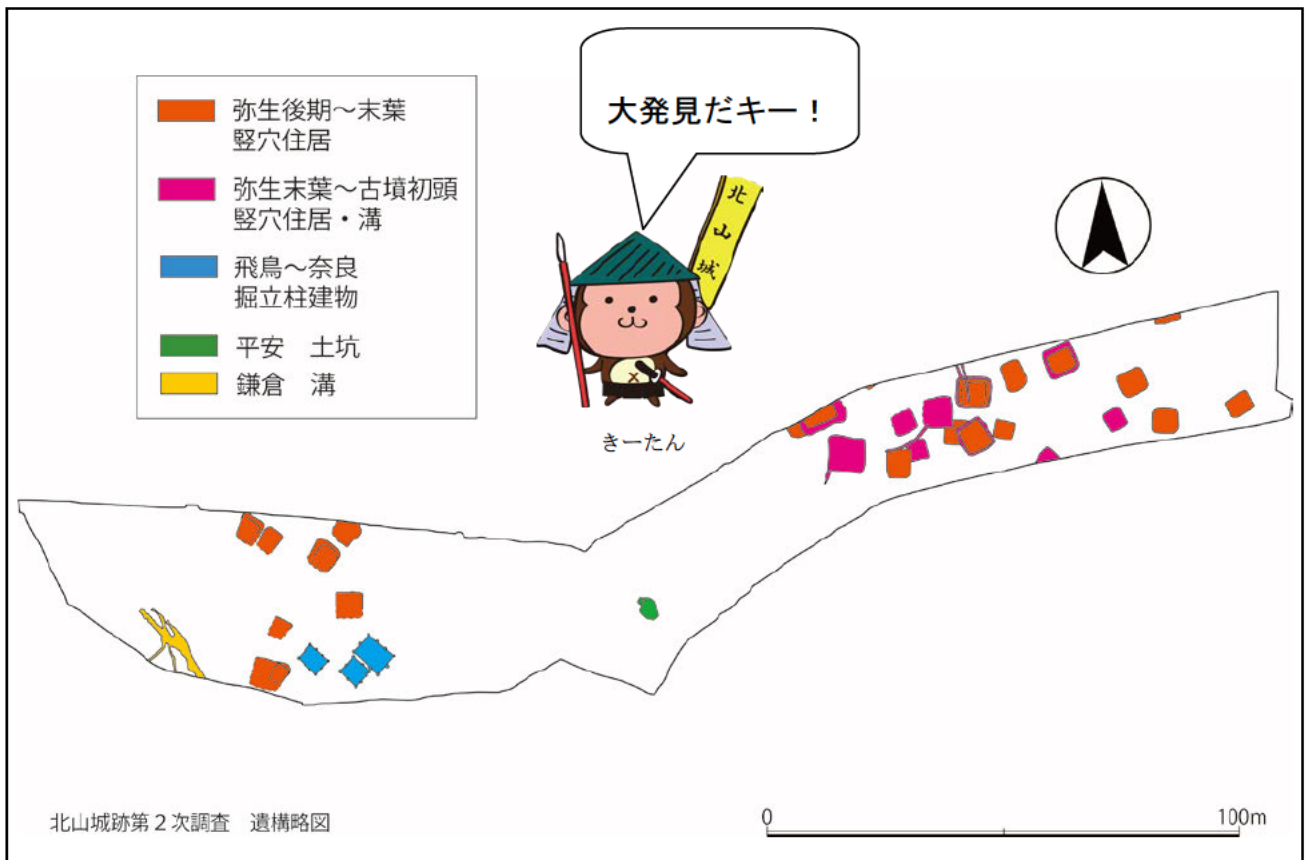


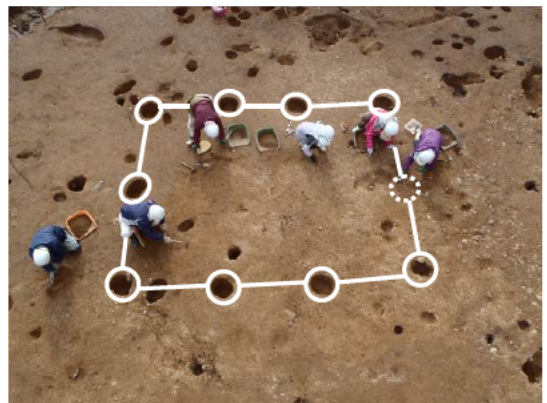
北山城跡 第2次 (No.20)

現地調査が終了しました

今年度の北山城跡の発掘調査が終了しました。今回の調査では北山城に関連する戦国時代頃の遺構や遺物は見つかりませんでした。城がつくられる以前の、弥生時代～鎌倉時代までの遺構や遺物がたくさん見つかりました。特に弥生時代後期～古墳時代初頭（約1,800～1,700年前）の竪穴住居は38棟も見つかり、今後の調査でさらに数が増えることは確実です。この場所にこの時代の集落跡が存在することは、これまで全く知られておらず、今回の調査の大きな成果といえます。



竪穴住居跡（弥生時代後期～古墳時代初頭）



掘立柱建物跡（飛鳥時代～奈良時代）

丘陵上の遺構は弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴住居にほぼ限られていますが、丘陵の下では、弥生時代後期の竪穴住居だけでなく、飛鳥～奈良時代の掘立柱建物、平安時代の土坑（大きな穴）、鎌倉時代の溝などが見つかっています。この地域の人々の暮らしや開発の歴史を知るうえで重要です。

発掘調査は現地調査が終わればそれでおしまいというわけではなく、出土した遺物や記録したデータを整理し、さらに詳しく分析・検討し、その成果を公開していく必要があります。北山城跡では、来年度以降も発掘調査が予定されています。今後の調査によって、この地域の知られざる歴史がさらに解明されていくものと思われます。今後も発掘調査の成果にご期待ください。

出土した遺物紹介（おもなもの）



弥生土器（弥生時代後期）



ガラス小玉（弥生時代後期）



大型の砥石（弥生時代後期）



須恵器杯蓋（奈良時代）



灰釉陶器段皿（平安時代）



山茶碗（鎌倉時代末期）

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

電話番号: 059-363-3195/ファックス: 059-363-3196

E-mail: maibun@pref.mie.jp

担当: 勝山孝文・矢田陽・宮原佑治